

平成21年度第4回薬学教育FD/IT活用研究委員会議事録

- I. 日時：平成21年3月2日（火）14:00～16:00
- II. 場所：私情協事務室
- III. 出席者：松山委員長、黒澤副委員長、山岡委員、大嶋委員、大谷委員、梶原アドバイザー、松野委員
事務局 井端事務局長、森下、恩田

議事録

1. 分野別情報教育について

まず、前回の議論に従って、C15(1)「医薬品情報」のうち、技能又は態度が関連した下記SBOについて各委員から提出された宿題の検討に入った。

- 医療用医薬品添付文書と医薬品インタビューフォームの使い分けができる。-----松野委員
- 目的に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる。-----大谷委員
- 医薬品情報を目的に合わせて適切に加工し、提供できる。-----齊藤委員
- 医薬品情報の加工、提供、管理の際に、知的所有権、守秘義務に配慮する。-----山岡委員
- 医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、適切に検索できる。-----大嶋委員
- インターネットなどを利用して代表的な医薬品情報を収集できる。-----黒澤副委員長
- メタアナリシスの概念を理解し、結果を評価できる。-----佐藤委員
- 医薬品に関する論文を評価、要約し、臨床上の問題点を解決するために必要な情報を提示できる。-----松山委員長

以上の資料を元に検討しようとしたが、事務局から求められているものと違う事が判明した。事務局から要望されたものは、薬学情報教育の基盤となるガイドラインとしての総論的な1～2ページ程度の報告書とのことであった。そこで、上記宿題資料は一旦 pending した上で、医学および歯学の報告書を参考に副委員長が原案を作成、委員の校正、委員長の承認を経ることになった。なお、報告書には以下の内容を含む事とした。

検索・収集（倫理を含む）-評価・解析-加工・提供（医師向と患者向への）
本報告書は3月20日の理事会で報告・開示し、薬系教員からのパブリックコメントを受けつけ、次年度第1回委員会にてコメントを元に修正する事になった。

2. OTCをテーマにしたシナリオ作りについて

副委員長より 2 月 7 日付で配信された統一フォーマットに従って、修正された OTC シナリオの検討を行った。一部フォーマットに準拠していない（順序の入れ替え等）シナリオがあったが、事務局で修正できるレベルであったので、この微修正を行った上で完成形とすることです承された。

本シナリオは前回の議事の通り、各大学において実習などに著作権 free で使用してもらえるように、協会の WEB サイトからダウンロード可能な形で公開することになっており、引き続き委員長によって作成された薬系大学および薬剤師会向けの案内状の校正に移った。

特に薬剤師会向けの案内状で、お願いする立場から一部文言の修正が必要だろうとの意見がでた。また公開する WEB サイトの URL を記載する必要があるとのコメントもあった。その他の意見もふまえた上で、本案内状の校正を委員に依頼し、最終的に委員長承認の上で案内状を送付することになった。

3. 次年度以降の予定について

事務局から次年度以降の予定について説明があった。2006 年に出版した報告書「ファカルティ・デベロップメントと IT 活用」の改訂出版が 2012 年に予定されているので、今後 3 年間で以下のスケジュールでお願いしたいとの事であった。

2010 年 「学士力」 ICT（情報コミュニケーション技術）を使つての教育に対してある程度体験的な事業モデルを作成する。

2011 年 ICT において薬学教員の教育力に必要なものをまとめる。

2012 年 ガバナンスの集大成し、報告書を作成

この予定に従い、来年度は事業モデルの作成を主体にすることにした。現在は 5 年次の実務実習に向け、様々な評価システムが各地方で作成されているので、これらを参考にして ICT の提示を行ってはどうかとの意見がでた。

4. 次回委員会の開催

次回委員会は 6 月頃を目処に開催することになった。

以上